

施設名称	特別養護老人ホーム浅草	指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団
-------------	-------------	-----------------	------------------

1. 指定管理者の概要	
①業務内容	台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して昭和61年10月に設立した社会福祉法人である。
②類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム谷中・特別養護老人ホーム三ノ輪
③経営状況	(20年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入 2,454,705,943 円, 歳出 2,433,180,998 円, 収支差額 21,524,945 円 [公益事業特別会計]歳入 327,444,890 円, 歳出 380,680,744 円, 収支差額▲53,235,854 円

2. 施設の概要	
①所在地	台東区浅草4-26-2
②設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。
③利用者	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者
④開館日・時間	通年、24時間
⑤規模	延べ床面積 4,588㎡ 鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 駐車場、倉庫、ボランティア室、居室、食堂、浴室(機械浴、一般)、教養室、医務室など
⑥人員体制	41名 (内訳)施設長(1), 事務員(1), 相談員(2), 介護職員(常勤 25, 非常勤 7), 看護職員(4), 栄養士(1)

3. 事業(サービス提供)の概要	
①委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助(食事、介護(排泄援助、入浴援助)、季節行事等)地域・ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓、その他環境整備。等
②自主事業	自主事業は行っていない

4. 施設の稼働状況等											
○年間延べ利用者数(4月～3月)		○年度末入所者数(21年3月末)									
延利用者数	特養	ショート	合計	稼働率	要介護度	1	2	3	4	5	合計
19年度	27,183	1,831	29,014	94.4%	男性	0	1	6	9	2	18
20年度	26,665	2,013	28,678	93.5%	女性	0	2	12	18	27	59

5. 予算決算の推移		(単位:円)				
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	委託料	86,264,000	82,071,000	75,933,000	57,337,000	68,508,000
	料金収入等	328,662,000	324,148,000	332,381,000	329,161,000	344,171,000
	管理経費	414,926,000	406,219,000	408,314,000	386,498,000	412,679,000
決 算	委託料	27,426,257	27,426,257	37,266,507	57,337,000	
	料金収入等	384,586,533	376,302,852	371,288,491	358,355,837	
	管理経費	372,686,980	360,735,029	369,372,113	377,637,804	
	収 支	39,325,810	42,994,080	39,182,885	38,055,033	

6. 指標					
指標名称	単位	目標値 (22年度)	19年度	20年度	21年度
入所定員(ショートステイ含む)	人	84	84	84	84
利用率(特養+ショート)	%	96.0	94.4	93.5	

7. 評価項目		
3：協定等の水準を上回っている。 2：おおむね協定等の水準どおりである。 1：協定等の水準を下回っている。 ー：評価対象外項目		
評価の観点	評価	項目
①事業の運営 平均 [2.1]	(1) 施設の目的達成 [2] (2) サービス水準 [3] (3) 職員配置 [2] (4) 職員研修 [2] (5) 案内・接遇 [2]	(6) 開館時間等の遵守 [2] (7) 自主事業の成果 [ー] (8) 個人情報保護 [2] (9) 緊急時対応マニュアル [2] (10) 警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1) 建物保守・設備機器点検 [2] (2) 備品の管理 [2] (3) 清掃・衛生管理 [2] (4) 施設の修繕 [2]	(5) 危険箇所等の確認 [2] (6) 管理記録の作成・保存 [2] (7) 業務委託の事前承認 [2] (8) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [2.4]	(1) 利用者・第三者機関の評価 [3] (2) 苦情・要望への対応と報告 [2] (3) 利用者数の目標達成 [2]	(4) 利用しやすい環境整備 [2] (5) 関係団体・地域との関わり [3]
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1) 適正な予算執行 [2] (2) 経費縮減のための取組み [2]	(3) 収支計画の達成 [2] (4) 利用料等の徴収・管理 [2]
8. 評価		
A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。		
評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A	事業の運営は、全体的に適切に実施されている。中でもサービスについては玩具療法の導入など先進的な取り組みを実施し、高い水準を確保している。
②施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理については、前年課題となった施設内の整理整頓等施設全体で取組み、全体的に適切に対応されている。
③利用者の満足度	A+	利用者の満足度調査では、利用者からの満足度が高く、また、利用者家族会、玩具福祉学会といった関係団体や地域との連携も十分に図られている。
④歳入歳出	A	予算については概ね適切に執行されている。運営経費の縮減を図る一方、料金収入の増収に努めている。
⑤総合評価	A	施設の管理運営については、全体的に良好である。引き続き運営経費の縮減を図る一方、さらに料金収入の増収に努める必要がある。
9. 課題への対応等		
<p>満足度調査における利用者からの満足度が高く、サービス水準も高い。建物の保守点検、維持管理についても適切に実施されている。</p> <p>今後も利用者からの高い評価を得られる施設運営を継続していくとともに、運営経費の縮減を図りながら、料金収入の増収に努める必要がある。</p>		